

歯科口腔外科の今までとこれから

《8ヶ月を振り返って》

三重大学医学部附属病院歯科口腔外科から、2014年4月1日より独立行政法人 国立病院機構 三重病院 歯科口腔外科に赴任し、はや8ヶ月が過ぎました。私自身赴任前は、“三重病院歯科の受診者は圧倒的に小児が多く、診療内容も小児歯科を中心とした”イメージを持っていました。しかし、その内訳は70歳代以上を中心とした高齢者が6割以上を占め、20歳以下は2割程度で、内容も小児歯科のみならず、歯周病や義歯の修理・作製など多岐に渡るものでした。また、入院症例は全身麻酔下での抜歯1例と炎症患者の全身管理1例と現体制での限界もありますが、今後は可能な限り、全身麻酔下による手術症例を徐々に増やしていくことを検討しております。さらに、数年内に県内の障害者施設2カ所が当院へ施設合併もあり、今後は小児患者の受診率は増加するものと考えられ、そ

のためにも少し先ではありますが、**小児有病者歯科の全身麻酔下の治療など、特化した体制も検討していく必要があると考えております。**この8ヶ月間、一番深く感じたことは、重症心身障害患者や長期慢性疾患患者の口腔ケアへの取り組みが、前任の歯科医師や現スタッフの歯科衛生士の努力、さらには各科のご理解、ご協力により、**県内どの病院施設よりも質の高い口腔ケアを実施しているということでした。**8月には病棟看護師さんと「歯科衛生士による入院患者の口腔ケア手技について」と題した勉強会、9月には「口腔内疾患を診る」と題した院内勉強会においても、**出席者の口腔ケアへの関心の高さに驚かされました。**これからは、**口腔ケアを確実に発展させるべき責務と地域との関連性を深めていくなか、さらに三重病院として特化した歯科口腔外科診療への取り組みに努力する所存です。**



お口、きれいにしましょうね



口腔ケア
やさしく丁寧に!

(歯科口腔外科医長 松村 佳彦)

お知らせ

シダトレンによる スギ花粉症治療(舌下免疫療法)を開始しました

シダトレンは、スギ花粉症を引き起こす原因物質であるスギ花粉を原料とした医薬品です。舌下免疫療法とは、このシダトレンを毎日舌下に含んで体に吸収させることによって体を慣らし、スギ花粉によるアレルギー症状を和らげる治療です。治療は少なくとも3年間続ける必要があります。すぐに効果が出るものではありませんが、長期間にわたって花粉症の症状を軽くしたり、お薬を減らしたりできる効果が期待できます。

この治療は12歳以上のスギ花粉症の方を対象としています。治療を始めるためには、舌下免疫療法の方法、効果や副作用などを十分に理解していただく必要があります。この治療法の適応がある方かどうかの判断も必要になります。また、スギ花粉飛散中はこの治療を開始できません。

詳しくは、当院耳鼻咽喉科へご相談下さい。

